



大山田こども園の先生たちが作った “育ちを支える”木製手作り遊具

大山田こども園では、こども環境アドバイザー^(*)指導のもと、子どもの主体的な育ちを支える環境づくりとして、先生たちが木製遊具などを手作りしています。姉妹園みはた虹の丘こども園の取り組み^(*)に続き、地域の特性を生かした遊具を増やして保育の充実を進めてまいります。



幼児クラス(3歳児)では、約130cm四方の大きな箱型遊具を製作しました。一見するとシンプルな箱ですが、上に乗るためには両手を伸ばし、足の位置を工夫しながら身体を使う必要があり、「どうやったら登れるかな?」と自分で考えて挑戦を繰り返します。この経験は身体の使い方や体幹の発達を促し、危険を予測する力や試行錯誤する意欲を育てます。また「まだ自分には登れない」「怖いからやめておこう」と判断することも、自分の育ちと向き合い“しない”という選択を学ぶ大切な経験です。

乳児クラス(0~1歳児)では、部屋全体に広がる高さ約45cmのパーテーションと箱型の滑り台を製作しました。パーテーションは、目の前の遊びに集中できる環境を作る役割を果たします。また、板を



ずらして生まれた小さな窓から覗いたり、手を出してみたりすることで、「なんだろう?どうなるのだろう?」と確かめようとします。こうした小さな“試してみる”経験は、子どもが自分から遊びに関わり、遊びを広げていく力につながります。

滑り台では、登る・降りる・くぐるなど全身を使った動きが自然と生まれ、姿勢の安定やバランス感覚、空間認知といった幼児期の大切な基盤を育てます。



中庭には、お砂場遊びで使うおもちゃの整理箱があります。木製の温もりがあり、自分で好きなおもちゃを取り出して遊びます。自分で選ぶ経験が主体性を育て、道具の種類を理解しながら遊びを組み立てる力につながります。また、使ったものを戻す習慣や友だちとのやりとりも自然に生まれます。

今後は、大山田の豊かな自然を生かし、園庭に置くビオトープ作りにも挑戦したいと考えています。夕陽や風を感じられる築山や見晴らし台も整え、子どもたちや地域の方々と自然を楽しめる環境を育てていきたいと願っています。



(*)裏面参照、取材:広報委員会

名張育成会の活動、ひとつずつ！

各施設の様子をお伝えする「MiRAiレポートブログ」から
選り抜きの話題をご紹介します。

はてなブログ MiRAiレポート 検 索

の一まらいふ暖

新しいパンフレットができました



の一まらいふ暖は、福祉サービス利用に関する計画作成や様々な相談支援を行っています。

このたび、**事業所の魅力を地域の皆さまへお伝えするため、「パートナーシップチーム」**が取り組んできた**パンフレット**が完成しました。

モットーは「**分かりやすく、シンプルに**」。

手に取った方に、の一まらいふ暖の雰囲気や大切にしていることが伝わるよう、色彩や構成に工夫を凝らしました。また、開くたびに思いが届くような**独自の折り方で、キャッチフレーズの配置**にもこだわっています。幸せを運ぶ「**青い鳥**」や、利用者の皆さんの願いを描いた「**木**」のイラストには**一人ひとりが、「自分らしい彩を見つけてほしい」という願い**を込めました。

現在、関係機関への配布を進めています。ぜひ、お手に取ってご覧いただき、皆さまの感想をおきかせください。

こどもライフサポートセンター〈はーと〉

夏祭り



毎年恒例、**はーと・ぽぷら夏祭り**を開催！去年に引き続き**保護者の皆様も来所され、にぎやかなお祭り**となりました！

うちわ作り、ヨーヨーすくい、スーパーボールすくい、射的など。またBBQのあとは、かき氷職人さんのかき氷も堪能！口だけのよい、美味しいかき氷でした。

夜は**花火大会**！色とりどりの花火に夢中になりました。

保護者の皆様、大変暑い中、来所いただき誠にありがとうございました。**たくさんの笑顔あふれる夏祭り**になり、心から感謝を申し上げます。

通所活動支援〈きぎょうの家〉

Let's 口腔体操



きぎょうの家では、知的・身体障害のある利用者さんが日中を過ごす場として、にぎやかに活動しています。今年度から新たに

「**口腔体操**」を取り入れました。話す・食べる機能を保つための体操で、唇や舌の動きを鍛える「**パタカラ体操**」を童謡に合わせて楽しく実施しています。**紙芝居**を使い、歯みがきの大切さも分かりやすく伝えています。

始まったばかりの取り組みですが、「**いつまでも笑顔で、おいしく食事ができるように**」を目標に、これからも口腔ケアの学びを続けていきます。

今月紹介した記事はすべて、「MiRAiレポートブログ」に詳しく掲載しています。ぜひご覧ください。



ブログ・Instagramは
コチラ▶

Instagramでもご覧になれます。
QRコードからチェック！

(表面より)

子ども主体の保育を学ぶ合同研修 —井上寿先生を迎えて—

研修講師は、2019年に姉妹園みはた虹の丘こども園での木製遊具づくりからお世話になっている、こども環境学会*認定こども環境アドバイザーで一級建築士の**井上寿先生**です。8月中旬の3日間、「**大山田こども園**」「**みはた虹の丘こども園**」「**いが児童発達支援センターれいあろは**」「**児童発達支援センターどれみ**」「**名張育成会ゆうら**」が合同で研修を行い、両園からは**保護者の方も2名ずつ参加**されました。研修で学んだのは「**子ども主体の保育**」の大切さです。一人ひとりの「**やってみたい**」という気持ちを尊重し、子ども自身が考え、選び、挑戦できる環境を整えることが主体性を育みます。これからも、子どもの育ちを支える環境づくりを大切にに取り組んでまいります。



…そおっと！
(写真提供:みはた虹の丘こども園)



研修の様子



*こども環境学会、
*みはた虹の丘こども園の取組：
QRコードよりご覧ください。